

大学自己評価部会だより

第48号 (平成28年1月)

■九州歯科大学憲章（前文）

平成26年の創立100周年を機に九州歯科大学は、次なる世紀に向けて患者中心の歯科医療を提供できる人材の育成を第一義に掲げ、全人的歯科医学教育活動を展開します。

新たな大学づくりに踏み出すにあたり、ここに「九州歯科大学憲章」を掲げ、学生、教員、職員の3者が一体となって、理念の共有と目標の実現を目指します。

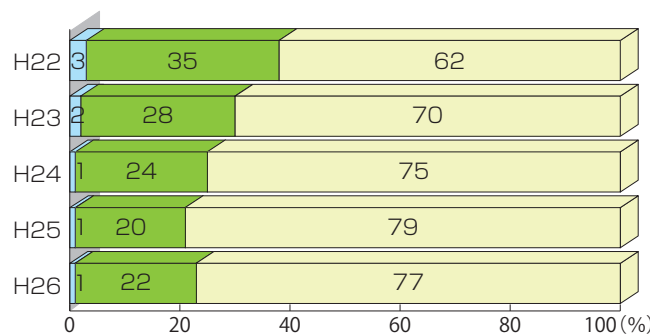
アンケート調査結果を報告します

心身の健康に関する相談室の認知度、自主学習の場所と時間に関する状況および生活面でのニーズの把握の満足度について、平成22年度～平成26年度の5年間を比較しました。

① 健康に関する相談室の認知度

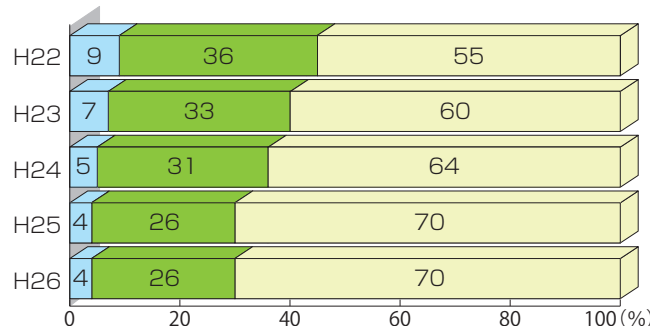
健康管理室と学生相談室(旧カウンセリング・ルーム)の認知度は高く、しかも平成25年度まで増加傾向にありました。しかし、平成26年度はほぼ横這いでした。今後、認知度が減少傾向に転じないように見守る必要があります。なお、平成26年度に1回以上利用した人の割合は、健康管理室が54.9%、学生相談室が16.1%でした。

本学に
健康管理室があるの
を知っていますか。



□ 知っている
■ 何となく知っている
■ 知らない

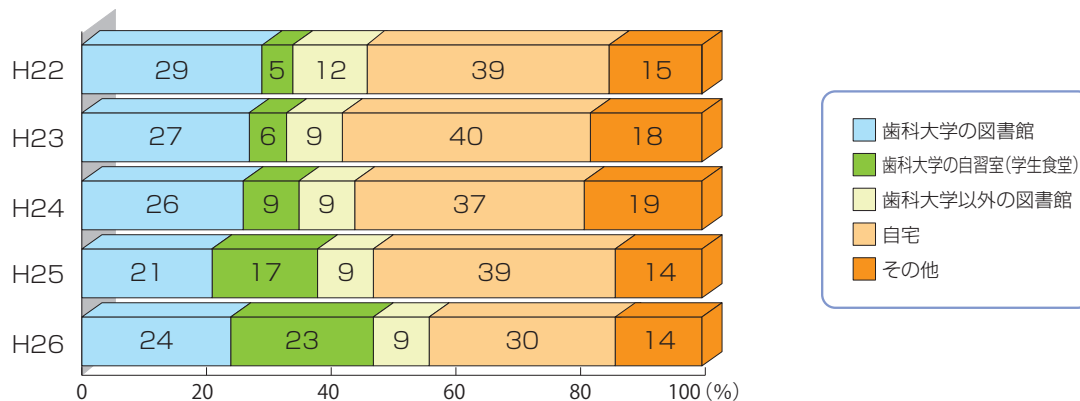
本学に
学生相談室
(カウンセリング・ルーム)が
あるのを知っていますか。



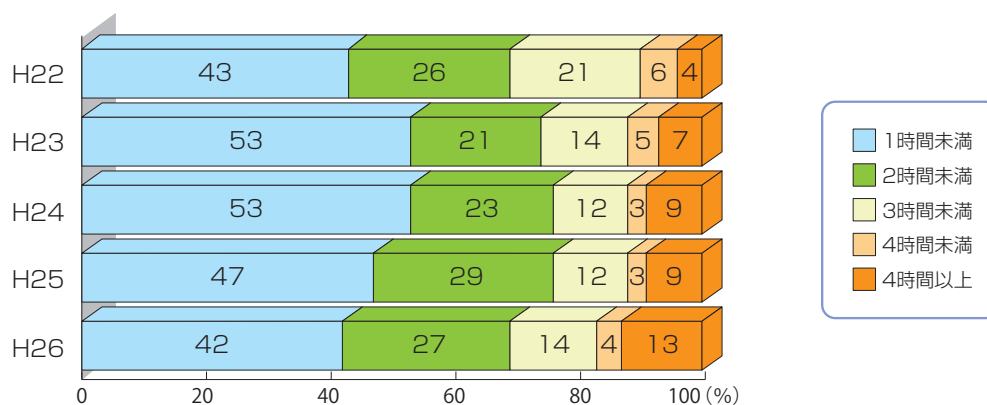
② 自主学習の場所と時間

平成25年度以降、それまでの「歯科大学の自習室」を「学生食堂」に置き換えました。その結果、学生食堂の利用率の高さが伺われ、さらに増加傾向にあります。自宅学習が減少傾向に、歯科大学の図書館が横這いの状態にあります。1日の学習時間は、平成23年度以降「1時間未満」が減少し「4時間以上」が増加の傾向にあります。この傾向が継続することを願います。

土日・祝祭日など、
大学が休みの時の
自主学習は主に
どこを利用しますか。



試験勉強を除く
あなたの自主学習
時間は、1日平均
何時間ですか。



③ 生活面でのニーズの把握に関する満足度

例年ほぼ半数が「どちらともいえない」と答えています。そのような中、平成24・25年度に「思わない」の割合が減少したものの、平成26年度には再び増加し、「どちらかといえばそう思う」が減少しました。

本学として、
生活面での皆さんの
ニーズを適切に把握し
ていると思いますか。

